



# 外国ルーツの子どもへの 日本語学習支援者養成講座 (実践編)

外国ルーツの子どもたちは多くが日本の学校に通っています。子どもたちの抱える問題について理解し、また、学校で新たに始まる「特別の教育課程」についてもわかりやすく理解します。子どもを支援するボランティアに役立つ「子どものための日本語指導」、「教科につなげる日本語指導」を、実際の作業を通して考えましょう！  
おとなを指導している方にも、新たな視点で役立つでしょう。

～日本語指導のボランティアに関心のある方々、どうぞご参加ください！～

1. 講師：東京学芸大学 国際教育センター 准教授 菅原雅枝さん
2. 会場：伊勢崎市本町20-1 SOAビル 茂木園2階
3. 受講料：無料
4. 定員：30名
5. 開催日時及びテーマ：

No.	日時	テーマ	内容
1	8/30(土) 16:00～18:00	日本の学校に通う外国人児童生徒たち【講義】	日本に暮らす外国人児童生徒について、来日の背景、日本での生活、ことばの問題、学校生活など、来日した子どもたちが抱えている問題についてお話しします。あわせて、特別の教育課程による日本語指導についてもお話しします。
2	8/31(日)① 9:00～11:00	年少者への日本語指導【講義とワークショップ】	「年少者」「第二言語」をキーワードに日本語の授業を考えます。実際に授業計画を立てながら、外国人児童生徒への指導の特長を理解することを目指します。
3	8/31(日)② 11:10～13:10	授業づくりのポイント【発表と解説】	グループごとに考えたタスクを発表し、お互いに検討します。皆さんの意見を元に、「子どものための日本語指導」のポイントを整理していきます。
4	9/6(土) 16:00～18:00	学校との連携-特別の教育課程を巡って-【講義】	特別の教育課程による日本語指導を実施する際の指導計画、子どもの実態把握などを巡って、「特別の教育課程」における支援者の役割、教員との連携についてお話しします。また、日本語を母語としない子どもたちにとっての「教科学習」の難しさについて考えます。
5	9/7(日)① 9:00～11:00	教科につながる指導【講義とワークショップ】	教科学習に参加できる日本語力の育成という点から、「教科につなぐ」ための指導のポイントを、実際の作業を通して考えていきます。
6	9/7(日)② 11:10～13:10	ボランティアの役割【講義とワークショップ】	皆さんが考えた活動を共有します。最後に、外国の子どもたちの日本語支援・学習支援を行うボランティアの役割と活動の留意点についてまとめます。

## 6. お申し込み・問い合わせ

電話、FAXまたはEメールにて、NPO法人Jコミュニケーション「まなびあいステーション」までお申し込み下さい。  
(氏名・住所・電話番号・職業もしくは所属・日本語指導経験の有無をお伝えください。)  
締め切りは8月25日(月)です。

電話：0270-23-5750、FAX：0270-61-5160

Eメール：jp.ed.jcommunication@gmail.com

\* お車をご利用の方は、SOAビル東隣の「かかあ町駐車場」をご利用ください。  
3時間以内200円です。

主催：NPO法人Jコミュニケーション 群馬県伊勢崎市本町20-1 SOAビル201

本事業は、群馬県緊急雇用創出基金事業です。

